



平成17年 8月16日
日本原子力発電株式会社

東海第二発電所

電動機駆動原子炉給水ポンプ（B）出口弁の点検に伴う原子炉手動停止について （調査状況）

当社、東海第二発電所（沸騰水型軽水炉、定格電気出力110万キロワット）は、平成17年4月23日から第21回定期検査を実施しておりましたが、所定の点検が終了したため、8月9日22時に原子炉を起動しました。

その後、原子炉圧力上昇に伴う操作において、8月10日14時20分頃、電動機駆動原子炉給水ポンプ（B）出口弁（B系出口弁）が正常に動作しない事象が発生しました。

これにより、調査のため同日15時から原子炉を停止する操作を開始しました。

なお、この事象による主排気筒モニター並びにモニタリングポスト^{*1}の指示値の変化はなく、外部への放射能の影響はありません。

*1: 周辺環境の放射線を測定する装置

（平成17年8月10日発表済）

その後、8月14日からB系出口弁の内部を点検したところ、弁棒の下部が破断していることを確認しました。また、A系出口弁についても点検したところ、B系出口弁の破断部と同じような箇所に浸透探傷試験^{*2}で指示模様が確認されました。

今後、詳細な原因調査を行います。

*2: 浸透探傷剤を用いて傷やピンホール等の有無を調べる試験方法

（添付図）東海第二発電所 電動機駆動原子炉給水ポンプ出口弁調査状況

以上

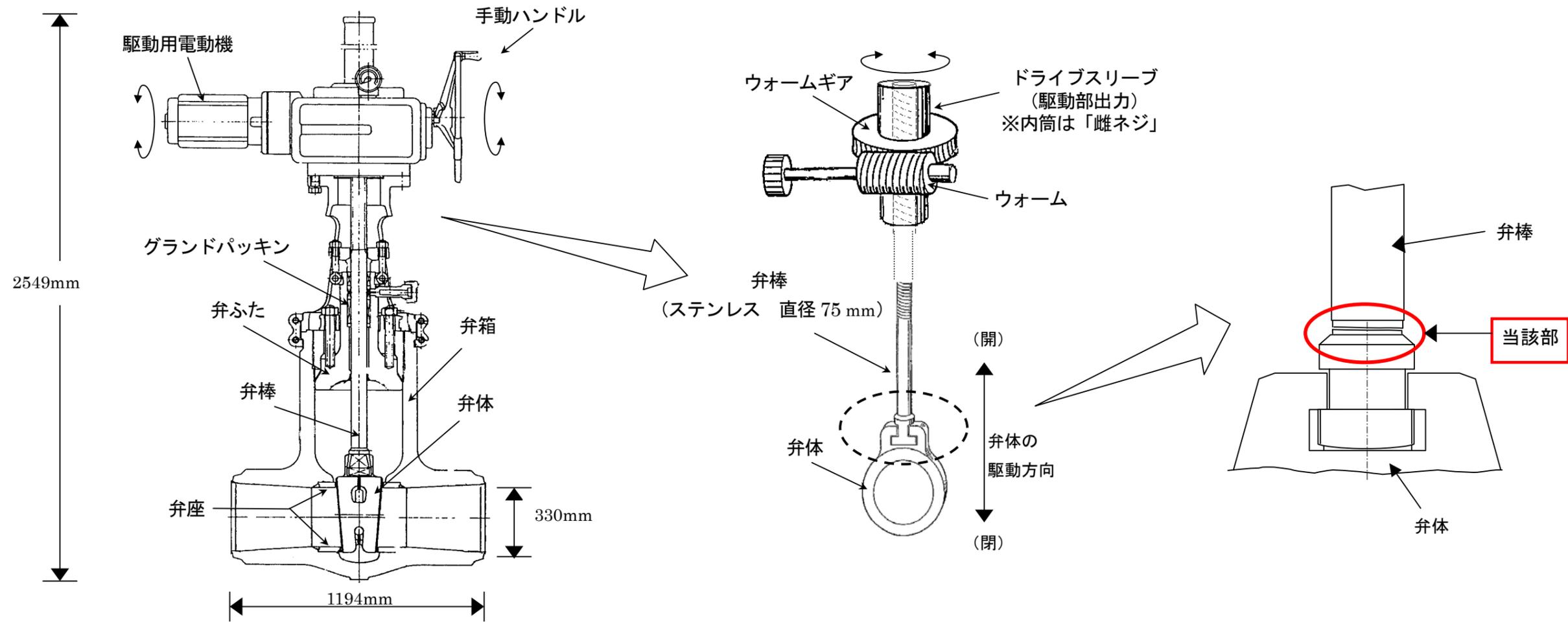
（経済産業省によるINESの暫定評価）

基準1	基準2	基準3	評価レベル
—	—	0—	0—

東海第二発電所 電動機駆動原子炉給水ポンプ出口弁調査状況

添付図

〔弁体・弁棒及び駆動部〕

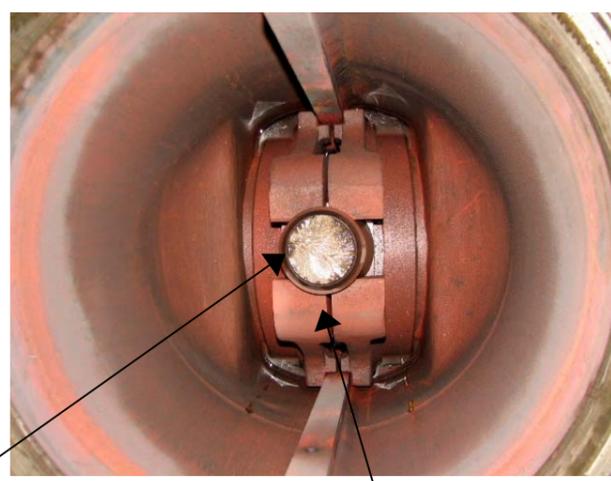


(状況写真1 : B系出口弁の弁棒破断部)



弁棒の破断部

(状況写真2 : B系出口弁の弁箱上部から見た弁体)



(状況写真3 : A系出口弁の弁棒当該部) 拡大写真

